

各位

株式会社日本バイアウト研究所

『日本バイアウト市場年鑑—2008年下半期版—』 のご案内

謹啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。この度、新刊『日本バイアウト市場年鑑—2008年下半期版—』を刊行致しましたのでご案内させていただきます。

【本書の特徴】

- ◎日本のバイアウト・ファンドの設立本数とコミットメント金額の推移、日本のバイアウト案件の動向、エグジット案件の動向、PIPEs (private investment in public equities)、LBO ローン&メザニン・ファイナンスの動向を分析。
- ◎ファンド・マネジャーによる事例紹介の寄稿、経営者インタビュー、M&A アドバイザーへのインタビューを収録。
- ◎日本のバイアウト市場で活動する金融プロフェッショナルと経営プロフェッショナルを中心とする人材の動向に関する特集を企画し、プロフェッショナルへのインタビューおよび寄稿論文を収録。

【読者層】

エクイティ・プロバイダー(バイアウト・ファンド、プリンシパル・インベストメント)、メザニン・プロバイダー、デット・プロバイダー、M&A アドバイザリ—会社、エグゼクティブ・サーチ会社、コンサルティング会社、ファンド・オブ・ファンズ、機関投資家、事業会社の経営企画担当・財務担当(MBOを遂行した企業を含む)、弁護士、公認会計士、税理士、M&A 研究者

発行所: 株式会社日本バイアウト研究所

発行日: 2009年3月31日

仕様: A4版 197頁

価格: 50,000円(税込)

主な内容: 目次を参照

【お申し込み方法】

注文書での FAX 送信か Web サイト上で注文書をダウンロードしメール添付で送信下さい。申込受付翌営業日までに発送を開始致します。



Sponsors of this edition

Lead sponsor



Co-sponsors

ANTELOPE
CAREER CONSULTING



東京海上キャピタル株式会社
TOKIO MARINE CAPITAL CO., LTD.

株式会社日本バイアウト研究所

URL: <http://www.jbo-research.com/>

【お問い合わせ先】 jbori@jbo-research.com (担当: 杉浦)

目次

第 I 部 日本のバイアウト市場の動向

1.日本のバイアウト・ファンドの動向	3
1.1 日本のバイアウト・ファンドの設立本数とコミットメント総額の推移	
1.2 第一号ファンドと第二号ファンド以降の設立本数の推移	
1.3 2008年7月～12月に設立された主要バイアウト・ファンド	
2.日本のバイアウト案件の動向	8
2.1 日本のバイアウト案件の推移	
2.2 タイプ別の日本のバイアウト案件の推移	
2.3 2008年7月～12月に成立した子会社・事業部門売却型の主要バイアウト案件	
2.4 2008年7月～12月に成立した事業再生型の主要バイアウト案件	
2.5 2008年7月～12月に成立したオーナー企業の主要バイアウト案件	
2.6 2008年7月～12月に成立した公開企業の非公開化を伴うバイアウト案件	
2.7 取引金額別のバイアウト案件の推移	
2.8 業種別のバイアウト案件の推移	
2.9 トップ・マネジメントの就任形態	
2.10 地域別のバイアウト案件の推移	
3.日本のエグジット案件の動向	29
3.1 日本のエグジット案件の推移	
3.2 2008年7月～12月までの主要エグジット案件	
3.3 日本のバイアウト案件のエグジット達成率	
3.4 投資の実行からエグジットまでの期間	
4.日本の PIPE 案件の動向	34
4.1 日本の PIPE 案件の推移	
4.2 タイプ別の PIPE 案件の件数の推移	
4.3 取引金額別の PIPE 案件の推移	
4.4 PIPEs のエグジット案件の動向	
5.日本の LBO ファイナンス市場の動向	40
5.1 日本のバイアウト案件におけるレバレッジド・ファイナンス活用状況	
5.2 日本の LBO ローン市場の動向	
(1) 本調査におけるデータの集計方法	
(2) 日本の LBO ローン の推移	
5.3 日本のメザニン・ファイナンス市場の動向	
(1) 日本のメザニン・ファンドの設立状況	
(2) タイプ別のメザニン・ファイナンスの推移	
(3) 日本のメザニン・ファイナンスの金額の推移	
(4) 主要なメザニン・ファイナンス活用案件の特徴	
【事例紹介】	
インテグラルのハイブリッド型投資と i-Engine 機能～ピー・ピー・エスへの投資～	52
(執筆: インテグラル株式会社 パートナー 水谷謙作)	
九州ブリッジファンドの取り組みと投資事例～地域特化型ファンドとしての取り組み～	61
(執筆: 株式会社ドーガン・インベストメンツ シニアファンドマネージャー 中西雅也)	
地方食品スーパーの事業再生～パレの事例～	72
(執筆: フェニックス・キャピタル株式会社 ディレクター 小島崇)	
ポスト M&A において有用な組織診断	81
～心理・行動特性から組織を可視化し企業価値向上の打ち手を導出する～	
(執筆: 株式会社アフリス 代表取締役副社長 源聡史)	
足利ホールディングスの資金調達について	90
(執筆: 株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一)	

【インタビュー】

- エス・ディー・エスバイオテックの MBO と株式公開95
(株式会社エス・ディー・エスバイオテック 代表取締役社長 白井孝氏
株式会社エス・ディー・エスバイオテック 取締役管理部長 高橋順一氏)
- バイアウト前後の組織・人事マネジメント106
(マーサージャパン株式会社 グローバル M&A 部門アジア・太平洋地域統括 代表取締役 西口尚宏氏)
- 新たな事業再生型 M&A 時代の到来～M&A アドバイザーの視点から～112
(GCA サヴィアン株式会社 パートナー 高橋元氏)

【座談会】

- ミッドキャップの企業を投資対象とするバイアウト・ファームの動向121
(東京海上キャピタル株式会社 取締役社長 深沢英昭氏
ヴァリアント・パートナーズ株式会社 共同代表パートナー 加藤健氏
ポラリス・プリンシパル・ファイナンス株式会社 代表取締役社長 木村雄治氏)

【概要】 各社の投資活動の概要（ファンド規模、一件当たりの投資金額、想定するポートフォリオ企業数など）および近年の案件のソーシング活動の概況についてご紹介頂いた上で、ミッドキャップの企業を投資対象とする優位性や特徴について討論した。また、中堅・中小のオーナー企業に焦点をあてて、オーナーやマネジメントの意識の変化や近年の中堅・中小企業の事業承継案件の特徴について討論した。そして、2008 年下半年以降の日本のエグジット市場やデット市場を含めたマーケットの状況と 2009 年のマーケットの展望についてお話し頂いた。

第Ⅱ部 特集: プライベート・エクイティ人材の動向

特集の概要

今号では、日本のバイアウト市場で活動する金融プロフェッショナルと経営プロフェッショナルを中心とする人材の動向について明らかにする特集を企画した。プライベート・エクイティの人材に関する問題は、バイアウト・ファームの立ち上げやチームアップ、インベストメント・チームの確立、投資先企業に派遣するマネジメントの招聘やプーリング、CFO (chief financial officer) の派遣など多岐にわたっている。本企画では、これらの諸問題に関する討論を行った座談会、インタビュー、バイアウト・ファームの人材や投資先企業の経営人材の実態と課題をテーマとする寄稿論文を収録した。

【座談会】

- 日本のバイアウト市場におけるプロフェッショナル人材141
(株式会社経営共創基盤 代表取締役 富山和彦氏
マッキンゼー・アンド・カンパニー・インク・ジャパン ディレクター 本田桂子氏
インテグラル株式会社 パートナー 辺見芳弘氏)

【インタビュー】

- バイアウト・ファンドの投資先企業に派遣する CFO 人材の実態と課題155
(株式会社デルタウィン CFO パートナーズ 代表取締役社長 安藤秀昭氏)

【寄稿論文】

- バイアウト・ファンドの投資先企業における経営チーム組成の留意点165
(執筆者: 株式会社エグゼクティブ・ボード取締役 渡辺健堂)
- 日本のバイアウト・ファンド業界における人材マーケット175
(執筆者: アンテロープキャリアコンサルティング株式会社 リサーチアナリスト 神宮司雄介)
- プライベート・エクイティにおける人的資源の問題182
～欧米系先進大手との比較から、その成熟度を探る～
(執筆者: 株式会社せおん 代表取締役 越純一郎)